

浜松聖アンデレ教会は、横浜教区の最西端に位置する教会で、伝道開始から今年で一〇九年。教会設立から一〇〇周年になります。それでは、当教会の成立の経緯からご紹介します。



(一) 伝道開始

一八九七年(明治三十年)十月、静岡在住の山縣与根二師が伝道活動を開始しました。

(二) 伝道期間

一九〇一年(明治三十四年)七月、塩崎信吉伝道師が静岡聖ペテロ教会より来任し、袋町に講義所が設けられました。その後、五人の管理長老(いづれも外国人)が伝道活動を続けられました。

(三) 聖アンデレ教会設立

一九一六年(大正五年)六月、W・Aリチャーズ師が管



場所  
〒四三二一八〇二二  
静岡県浜松市山手町六一一四



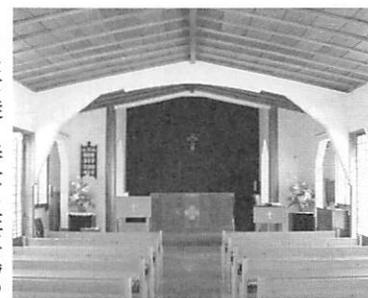
理長老となり元魚町に金五千円で土地家屋を購入し浜松聖アンデレ教会を設立しました。

(四) 礼拝堂建築

一色榴吉管理長老の在任中に礼拝堂建築の計画が立てられ、一九三一年(昭和五年)三月、今井直道長老起工式、植村才一長老定礎式を経て、六月二日、南東京地方部監督サムエル・ヘーズレット博士によって礼拝堂聖別式が執り行われ、最初の礼拝堂が完成しました。

(五) 教会焼失と礼拝堂再建

一九四五年(昭和二十年)第二次世界大戦の空襲で全建物を焼失しましたが、宿谷栄司祭のもと再建計画を立て敷地約千百坪を購入し、一九五四年(昭和二十九年)六月十九日、イサク野瀬秀敏主教により聖別、現在に至っています。



また信徒も奉仕し駐車場の拡張工事、教会看板の新設等を行いました。礼拝堂及び牧師館の老朽化が進み修繕費等がかさんでいますが信徒全員知恵を絞り頑張っています。

(六) 現在の働きと今後

当教会の昨年末の現在受聖餐者数は三八人の小世帯ながら、昨年は信徒の皆さんが揃いイースター、クリスマス、敬老日祝会(三鍋主教巡杖日)等の祝日を祝いました。

Tel & Fax  
〇五三三四五三一四三七六

教会ホームページ  
<http://nshk.org/yokohama/hanamans/>

礼拝案内

主日(日曜日)  
朝の礼拝 七時  
聖餐式 十時三〇分  
夕の礼拝 十七時  
(第2、第4主日除く)

教会歴史日

聖餐式 十時三〇分  
夕の礼拝 十七時

平日

朝の礼拝 七時  
夕の礼拝 十七時

アクセス

浜松駅バス乗り場の2番線で蛸塚・佐鳴台方面行き乗車、「山手町入口」にて下車、徒歩数分です。

協働主事会報告

(二〇一六年二月二日)

I 諸報告

- 1 教区主教
- ① 聖職試験について。吉田執事は管区試験を、窪田・姜両聖職候補生は教区試験を受験する。
- ② 韓国の聖公会神学大学の神学生が海外体験研修のために横浜教区を訪問したいとの希望がある。
- ③ ランバス会議が二〇二〇年にカンタベリーで開催される予定である。

2 宣教主事

- ① 一月十六日、第一回宣教委員会を、一月三〇日、第一回社会委員会を行い、昨年度からの引継・継続事項を確認精査し、今年度実施予定等を確認した。
- 3 教育主事
- ① 一月九日、十一日、青年ウィンターキャンプを長坂聖マリヤ教会にて行った。
- ② 一月二六日第一回青少年担当者会を行った。今年度から行事ごとの担当の他に、中学生・青年の専任担当を設け、年間を通して青少年の活動に関わ

4 総務主事

- ① 一月十七日カトリック末吉町教会で聖公会カトリック合同夕の礼拝が行われた。
- ② 福田聖公会境内地の一部処分に関する公告期間を終了し、現地管理牧師にその旨を伝えた。
- ③ 横浜聖アンデレ教会隣接地所有者変更に伴う土地境界確認書が作成された。
- 5 財政部長
- ① 一月十七日財務審査会を開催し、二〇一五年決算を検討した。
- ② マイナンバー制度と事業者の対応について。

II 協議事項

- 1 協働主事会として東日本大震災後五年の祈禱を各教会へ求める。
- 2 信徒奉事者の奉仕と分餐について意見交換した。

(総務主事 司祭 片山謙)

り、窓口となつてもらおう。

- ③ 一月十日、十一日、各教区青年担当者の集い(名古屋学生青年センター)、および二〇一六アジア青年大会準備会に出席した。
- ④ 二〇一六年アジア青年大会に小室大樹兄(平塚)が参加することとなった。